

2021年度 事業報告

公益財団法人 日本レクリエーション協会

もくじ

2021年度事業総括	3
1. レクリエーション運動を担う人材の育成	4
(1) レクリエーション研修	
(2) 公認指導者養成	
(3) 課程認定校での公認指導者養成	
(4) 公認指導者の審査・登録	
2. 指導者の活動支援と地域組織支援	10
(1) 指導者の再教育	
(2) 情報提供	
(3) 活動支援及び拠点整備	
(4) 公認指導者資格の更新	
3. レクリエーションの普及・啓発	14
(1) 全国イベント・啓発	
(2) 生涯スポーツ推進及びその他レク普及	
4. スポーツ・レクリエーション用具・書籍の開発・普及	18
5. その他 法人事務	18
2021年度 都道府県別公認指導者数一覧	20

2021年度事業総括

2021年度は、新型コロナウイルスの影響が続くなかで、引き続きICTの活用を進める一方で、実際の人々の交流や健康づくりを推進するために、「加盟団体と連携した健康スポーツの推進」、「都道府県レク協会の事務局機能支援と人材養成事業の強化」というテーマを設定し、「1. レクリエーション運動を担う人材の育成・強化」、「2. 指導者の活動支援と地域組織支援」、「3. レクリエーションの普及・啓発」、「4. スポーツ・レクリエーション用具・書籍の開発・普及」に取り組んだ。

新型コロナウイルスの影響としては、前年に続いて第75回全国レクリエーション大会2021福島が中止となった。また、全国一斉「あそびの日」キャンペーンや健康スポレクひろば普及推進事業等、普及事業の多くが規模を縮小することとなり、都道府県レク協会の人材養成事業も10道県で実施できなかった。

その一方で、公認指導者の養成数は3,621名(2020年度:3,449名)となり、久しぶりに前年度を上回った。これは、都道府県レク協会との協働養成やスポレク指導者の取得者数増、昨年度に続いて課程認定校での養成数を維持できたことによる。

公認指導者の更新については、レク・インストラクターの更新は18,734名(同20,947名)の対象者に対し13,677名(同14,867名)となり、更新率は過去最高となる73%を超え(同71.0%)、全資格の更新率も75.6%となった。全体の公認指導者数は昨年度より1,926名(同2,587名)減少した45,952名(同47,878名)となった。

公認指導者資格の前段階となる修了証制度についても、21年度はレク・サポーター1,080名、元気アップリーダー562名が登録され、全体の登録者が3,000名となり、ようやく都道府県レク協会の事業としても広がりが出てきた。スキルアップ制度についても周知が進み、アンケート調査でも中級の43%が昇級を目指していることがわかった。昇級の要件となる講師トレーニング等は、公認指導者の再教育・資質向上の機会として事業の中に定着させていきたい。

加盟団体や関係団体と連携した「ケンスポコム」については新たに5団体の参画を得て、情報の共有・発信をすることができた。22年度もさらに参画団体(現在56団体が登録)を上げながら発信力を高め、健康づくりに関心がある一般ユーザーとのつながりを強めていく。

ICTを活用した情報提供も定期的なコンテンツ制作が進み、約2,500の動画や記事等を配信し、アクセス数460万(同390万)、訪問者数65万人(同56万人)を超えた。

健康スポレクひろば普及推進事業については、新型コロナウイルスの影響により都道府県レク協会による実施カ所数は縮小したものの、公認指導者や加盟種目団体との連携は増え、全国91地区で実施することができ、今後の新しい運営の形を創ることができた。

スポーツ・レクリエーション用具の普及については、新型コロナウイルスの影響を受けた昨年度と同じ程度の規模(2019年度の7割弱)にとどまった。その一方で、新たな用具・プログラムの開発を開始することができ、2022年度後半に向けて成果を出すよう取り組みたい。

2021年度は、公認指導者の養成数・更新の増加という良い面もあったが、全体の指導者数の減少傾向は続いており、また事業規模の縮小もあり、全体の収入は前年と比べ2,400万円程度の減少となった。

1. レクリエーション運動を担う人材の育成

(1) レクリエーション研修

① 教員のためのレクリエーション講習会（教員免許状更新講習）

学校現場にレクリエーション支援の手法を広く普及するために、文部科学省より教員免許状更新講習開設者の認定を受け、本講習会を開催した。当初 39 都道府県にて対面型の講習会を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、13 都道府県での開催にとどまった。また、これらとは別に通信型の講習会も実施した。

○対面型講習会

「教育現場に活かすレクリエーションの体験学習：12 時間」（234 名）

北海道札幌市（15 名）	宮城県多賀城市（18 名）	福島県福島市（11 名）
栃木県宇都宮市（15 名）	群馬前橋市（22 名）	千葉県千葉市（23 名）
東京都渋谷区（23 名）	神奈川県藤沢市（22 名）	福井県福井市（22 名）
兵庫県明石市（12 名）	愛知県名古屋市（14 名）	大阪府大阪市（18 名）
鹿児島県鹿児島市（19 名）		

「遊びが運動になる、運動が遊びになるレク活動の体験学習：6 時間」（196 名）

北海道札幌市（15 名）	宮城県多賀城市（27 名）	福島県福島市（9 名）
栃木県宇都宮市（14 名）	群馬前橋市（19 名）	千葉県千葉市（22 名）
東京都渋谷区（25 名）	神奈川県藤沢市（23 名）	兵庫県明石市（17 名）
大阪府大阪市（12 名）	鹿児島県鹿児島市（13 名）	

○通信型講習会

「教育現場に活かすレクリエーションの体験学習：12 時間」（568 名）

「遊びが運動になる、運動が遊びになるレク活動の体験学習：6 時間」（611 名）

② レクリエーション・サポーター養成研修のための講師育成

レクリエーション支援の基礎を 3 時間で学ぶ本研修を普及するために、講師トレーニング（東京会場）を実施し、講師育成担当者 7 名、講師 3 名を養成した。

また、13 都道府県及び通信講座で実施した教員免許状更新講習で 639 名、講師派遣等で 122 名、大学からの受託研修で 131 名、11 都県レク協会（秋田県、福島県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、富山県、福井県、奈良県、福岡県、沖縄県）での研修にて 188 名のサポーターを養成した。

- ・レクリエーション・サポーター養成数 : 1,080 名
- ・レクリエーション・サポーター研修講師登録数 : 209 名

③ レクリエーション通信講座

レクリエーション支援の基礎知識を通信学習で学ぶレクリエーション通信講座を実施した。なお、本講習教材は、都道府県レク協会とのレクリエーション・インストラクター養成協働事業の理論科目の学習にも活用した。

- ・通信講座受講者：49 名

④ 元気アップ・リーダーの養成

元気アップ・リーダー養成（元気アップ教室）を18府県（秋田県、福島県、茨城県、神奈川県、福井県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、山口県、徳島県、愛媛県、高知県、福岡県）にて、35教室開催した。これにより、新たに562名の元気アップ・リーダーが登録された。

- ・ チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員：271名
- ・ ラダーゲッター普及員：133名
- ・ スポーツテンカ普及審判員：86名
- ・ マンカラ普及員：72名

（２）公認指導者養成

① 都道府県レク協会とのレクリエーション・インストラクター協働養成

日本レク協会が理論科目と実技・演習科目の一部（合計19.5時間分）を通信学習で実施し、都道府県レク協会が実技・演習科目（31.5時間）と現場実習（9時間）を集合学習で実施する新たな養成モデル事業を全国13都県で実施した。しかし、本年度も新型コロナウイルスの影響により受講者数は142名にとどまった。

なお、都道府県レク協会が独自に開催するレク・インストラクター養成講座は、全国24道府県での開催となり、新規取得者は協働養成と合わせ、305名（昨年度169名）となった。

② 課程認定校教員のためのレクリエーション・インストラクター養成講習会

教員の異動等により、急遽レク・インストラクター資格が必要になった課程認定校教員、次年度新規課程認定を希望している学校の教員を対象に、事前学習（通信学習）と短期集中型のオンライン学習による養成講習会を開催した。本講習は、課程認定校教員の義務研修の1つに組み込んでおり、4名の教員が講習の一部を受講した。

- ・ オンライン学習：2021年12月24日（金）～26日（日）
- ・ 参加者数：10名（うち、6名資格取得）

③ スポーツ・レクリエーション指導者養成

新型コロナウイルスの影響を受けて、福島県、東京都、新潟県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県の7都県での養成にとどまった。

カリキュラム・学習方法の見直しについては、学習カリキュラムの原案を作成し、加盟種目団体への周知を図った。今後、課程認定校教員を対象とした種目を学習する機会となる研修の実施を検討し、テキスト作成を進めていく。

④ レクリエーション・コーディネーター養成

本年度も新規募集を一旦休止する一方、受講中の方を対象とした指導実習を実施し、全ての受講生が学習を修了した。

⑤ 福祉レクリエーション・ワーカー養成

通信学習（レポート課題）と集合学習（スクーリング）、現場指導実習による養成方法を見直し、集合学習をオンライン学習（2日間）に変更して実施した。また、介護施設等

における現場指導実習を4日間から5日間とし、集合学習部分を補う形で実施することとしたが、感染症の影響で施設側の実習受け入れが困難となり、現場指導実習の修了者は1名のみとなった。

- ・通信教育課程新規受講生：6名
- ・オンライン学習：令和4年1月29日（土）～30日（日）

⑥ 資格認定委員会の開催

公認指導者資格認定、2021年度新規課程認定校、課程認定校における専門資格学内審査、レクリエーション・インストラクター課程認定校優秀学生表彰、レクリエーション・インストラクター上級指導者特別認定について審議を行った。

また、高等学校におけるレクリエーション・インストラクター養成やオンライン講習等についての検討も行った。

- ・資格認定委員会委員（敬称略）

松尾 哲矢（委員長） 岡山 千賀子 小田原 一記 木村 貴子
小池 和幸 永田 真一 吉田 伊津美

- ・第1回：2021年9月17日（金）14:00～16:00 オンライン開催
- ・第2回：2022年2月15日（火）14:00～16:00 //
- ・第3回：2022年3月23日（水）10:00～12:00 //

(3) 高等教育機関での公認指導者養成

① 課程認定校での公認指導者養成

「公認指導者養成制度」に基づき、大学、短期大学、専門学校の259課程を認定し、公認指導者の養成を行った。

○2021年度課程認定校 養成課程数

養成する資格種別	養成課程数
レクリエーション・インストラクター認定校	211
スポーツ・レクリエーション指導者	29
レクリエーション・コーディネーター認定校	8
福祉レクリエーション・ワーカー認定校	11
合計	259

② 課程認定校制度の学生向け広報

学生に公認指導者制度を周知し、レクリエーション科目の履修と資格取得を促すための冊子を課程認定校に配布した。また課程認定校向けのウェブサイトを更新し、情報を集約して効果的に発信した。

○冊子：資格とレクリエーション～学生の皆さんに伝えたいこと～

○ウェブサイト：課程認定校向けwebサイトをリニューアルし、その中で「在学生の方へ」カテゴリーを設置し、各種情報提供を強化した。

内容：「修学サポート」で各種動画を掲載。「マンガで解説資格ガイド」で2020年度制作した学生むけコンテンツを掲載。「優秀学生表彰制度」で、卒業時の表彰制度を紹介。https://recschoolstart.recreation.or.jp/s_guide/

○リーフレット：公認指導者資格のご案内「仕事に活かせるスキルを学ぶ」

○ポスター：遊びをもっと活用しよう！

③ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組み

養成課程実施における特別措置を令和2年度に定め、令和3年度も同様の措置とする旨の周知を行うとともに、電話等での個別支援を行った。

④ 課程認定校研究連絡会議の運営

課程認定校の教育活動の充実と課程認定校相互の連携、都道府県レクリエーション協会との連携を図るために設置された課程認定校研究連絡会議の事務局業務を行った。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、対応はすべてオンラインにて実施した。

○総会・幹事会等

総会	2021年5月27日(木)～ 6月11日(金)	書面方式で開催
第1回 幹事会	2021年5月13日(木)	1.令和2年度事業報告・決算報告について 2.検討プロジェクト報告資料について 3.全国研究集会・ブロック研修会・認定校支援事業について 4.総会開催形態について
第2回 幹事会	2021年9月18日(土)	1.全国研究集会の開催(オンライン)の確認 2.全国研究集会・情報交換会の進め方について
第3回 幹事会	2021年11月18日(木)	1.各プロジェクトの進捗について 2.次年度の全国研究集会について 3.次期幹事について
第4回 幹事会	2022年3月21日(月・祝)	1.令和3年度の事業報告案・決算報告案の確認 2.令和4年度の幹事執行体制について 3.令和4年度新事業(案)について 4.総会および全国研究集会の確認 5.令和4年度事業計画案、予算案について

○会議、研修事業等

全国研究集会	2021年9月18日(土)	<プログラム> 13:00～開会式 13:10～研究発表 14:15～情報交換会 15:30～閉会式
北海道・東北 ブロック研修	2022年3月3日(木)	COVID-19により対面での開催は実施せず。 オンライン形式にて開催。
関東・甲信越 ブロック研修	2022年3月3日(木)	
九州・沖縄 ブロック研修 ※中国・四国共催	2022年2月26日(土)	
課程認定校支援	認定校の教育活動の充実を図るために、教育活動助成(1校)、認定校訪問支援助成(3校・オンライン)を実施。	

レクリエーション教育モデル・コア・カリキュラム検討	日本協会、日本レジャー・レクリエーション学会と協働でレクリエーション学の確立に向けたコア・カリキュラムを検討。
研究大会や研修事業検討	オンラインでの開催形態などを検討。一環として全国研究集会の研究発表およびブロック研修会をオンラインで実施
研究助成および自由時間研究検討	自由時間研究への論文投稿拡大等を目的とした検討 研究助成事業の検討
研究連絡会議規約や会務検討	ICT を活用した会務のスリム化、会員の参画を促進するための会運営方法等の検討

○自由時間研究の発行

2019（令和元）年度の研究助成分2本と2020（令和2）年度の研究助成分3本と自由投稿論文、合計9本の論文を研究紀要「Leisure&Recreation 自由時間研究」第46号に掲載・発行。J-STAGE（独立行政法人科学技術振興機構が運営する電子ジャーナルの無料公開システム）に「Leisure&Recreation 自由時間研究」登録した。

○助成研究事業：12件の研究助成を採択した（自由時間研究 第47号に掲載予定）。

○日本レジャー・レクリエーション学会との事業連携

令和元年度より参画している学会事業への参加に加え、前述の「レクリエーション教育モデル・コア・カリキュラム検討」を行った。

○課程認定校研究連絡会議会務事務局業務：会計管理など諸事務を処理した。

（４）公認指導者の審査・登録

① レクリエーション・インストラクターの審査・認定登録

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	各都道府県レクリエーション協会で開催	305名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	2,859名
その他	課程認定校教員のための養成講習会／日本レク協会で開催	6名
合計		3,170名

参考：2020(令和2)年度

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	各都道府県レクリエーション協会で開催	169名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	2,936名
その他	課程認定校教員のための養成講習会／日本レク協会で開催	21名
合計		3,126名

② スポーツ・レクリエーション指導者の審査・認定登録

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	日本レク協会と各都道府県レクリエーション協会で開催	133名

課程認定校	各学校の学内審査により実施	237名
合計		370名

参考：2020(令和2)年度

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	日本レク協会と各都道府県レクリエーション協会にて実施	6名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	230名
合計		236名

③ レクリエーション・コーディネーターの審査・認定登録

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	2021年3月13日：web審査	1名	1名	1名
一般合計		1名	1名	1名
課程認定校 (7校)	各学校の学内審査により実施	38名	36名	35名
合計				36名

参考：2020(令和元)年度

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	2021年3月6日：web審査	3名	3名	3名
一般合計		3名	3名	3名
課程認定校 (7校)	各学校の学内審査により実施	38名	38名	38名
合計				41名

④ 福祉レクリエーション・ワーカーの審査・認定登録

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	2022年3月13日：web審査	1名	1名	1名
一般合計		1名	1名	1名
課程認定校 (10校)	各学校の学内審査により実施	50名	44名	44名
				45名

参考：2020(令和2)年度

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	2021年3月13日：web審査	1名	1名	1名
一般合計		1名	1名	1名
課程認定校 (10校)	各学校の学内審査により実施	48名	45名	45名
				46名

2. 指導者の活動支援と地域組織支援

(1) 指導者の再教育

① スポーツ・レクリエーション指導者養成講習会(補講講習会)

レクリエーション・インストラクター及びレクリエーション・コーディネーター資格を持つ公認指導者を主な対象とした講習会を千葉県、山口県、熊本県で実施し、合計 106 名が資格登録をした。

- ・熊本県会場 2021 年 10 月 2 日 (土)・3 日 (日) 参加者：49 名
- ・山口県会場 2021 年 11 月 13 日 (土)・14 日 (日) 参加者：29 名
- ・千葉県会場 2022 年 2 月 26 日 (土)・27 日 (日) 参加者：28 名

② レクリエーション・インストラクター・準上級審査のための講師トレーニング

準上級の審査認定に向け、申請要件である講師トレーニングを東京と岡山で開催した。

- ・東京都会場 2021 年 10 月 24 日 (日) 参加者：9 名
- ・岡山県会場 2021 年 11 月 21 日 (日) 参加者：10 名

(2) 情報提供

① 「レクぼ」を活用した情報配信

定期的にアクティビティ等の動画をアップし、頻度高く情報の更新を行った。新しく支援者研修というカテゴリを設け、公認指導者限定の動画を配信。準上級レク・インストラクター昇級審査の申請要件となる研修も配信した。

また、健康スポーツをテーマに動画と記事のコンテンツを制作し、ケンスポコムと情報を連携した。

○アクティビティ：575 本 ○動画：173 本 ○記事：1,698

○アクセス評価：閲覧数：4,637,899PV 訪問者数：649,080 人

参考 2020 年度：閲覧数：3,912,605PV 訪問者数：561,232 人

○健康スポーツ動画：スポーツウエルネス吹矢、カバディ、インディアカ、フライングディスク、チャレンジ・ザ・ゲーム、おうちで 60 秒チャレンジ、ラダーゲッター、ダーツ、タッチラグビー、ビリヤード、健康スポレクひろば、健康スポーツ

○健康記事：ロコモシンドローム、運動不足、高血圧、睡眠、糖尿病、メンタルヘルス、ウォーキング、準備運動

② 情報誌 Recrew (レクルー) の発行

公認指導者をはじめレクリエーション活動に関わる人たちに向けて、役立つプログラムやノウハウ、用具等の情報を提供する情報誌 Recrew (レクルー) を 6 回発行した。

2021 年度は、レクリエーションの普及啓発に関する内容や、新型コロナウイルス流行下における活動の在り方などを特集した。

号 別	特 集
2021年5月号	コロナ時代のレクの在り方とは？
2021年8月号	V S コロナ フレイル
2021年10月号 [特別増刊号]	レクぼの学生登録
2021年11月号	「第75回全国レクリエーション大会 2021 福島」 やりたかったこと
2022年2月号	子どもはどんなときでも「楽しい」を求めている！
2022年3月号 [特別増刊号]	レクリエーションをもっと身近に

(3) 地域組織支援

① 加盟団体運営代表者会議

都道府県レクリエーション協会、種目別加盟団体、加盟協力団体の運営代表者が集まり、レクリエーション運動の方向性や次年度に向けた課題について検討する会議を開催した。

本年度は感染症に配慮して1日のみの開催とし、午前全体会、後半から分科会を実施した。全体会ではスポーツ庁及び日本スポーツ振興センターから、スポーツ団体ガバナンスコードに関する説明等がされたほか、次年度の日本レクリエーション協会の基本方針及び重点施策を説明し、分科会にて内容を掘り下げた。

- ・期 日 2021年12月9日(木)
- ・会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

② ブロック会議

コロナ禍における組織・事業の活性化、公認指導者の活動支援、都道府県レクリエーション協会との連携・協調を図るためのブロック会議を以下のとおり開催した。本年度も感染症の影響を受け、近畿ブロックを除いてはオンラインにより開催した。

ブロック名	日 程	開催地	幹事県
北海道・東北	6月19日(土)	12:30~17:30	北海道
関東・甲信越	6月25日(金)	12:30~17:30	群馬県
東海・北陸	6月15日(火)	12:30~17:00	福井県
近畿	7月9日(金)	11:00~16:00	兵庫県
中国・四国	6月25日(金)	12:30~17:30	高知県
九州・沖縄	6月19日(土)	13:00~17:00	沖縄県

③ 地域事業普及促進強化事業

都道府県レク協会の組織基盤強化と、普及啓発事業拡大のために、支援事業を行った。

(1) 若手人材の育成支援

今後の組織運営を担い、ICTの活用を促進するため、若手人材を育成する15県(群馬県、千葉県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、三重県、兵庫県、徳島県、高知県、長崎県、宮崎県、鹿児島県)の取り組みに対して助成した。

- ・助成額：20万円(上限) / 1協会あたり

(2)事務局運営支援

個人宅に事務局を置いている協会、または事務局開設日数が少ない協会（本年度は 3 県）について、外部からの電話連絡に対応するための事務局の電話代行の提案を行い、1 県（滋賀県）の事務局電話対応業務を実施した。

(3)法人化支援

法人格を持たない道府県レク協会（28 協会）のうち、法人格（特定非営利活動法人または一般社団法人）取得に向けた個別支援を行った。本年度は 5 県が法人化に向けて取り組み、2 県（青森県、岡山県）が法人化した。

(4) 公認指導者資格の更新

① レクリエーション・インストラクター・スキルアップ制度の整備

準上級の審査認定に伴い、審査方法や評価の視点についてまとめ、制度の全体像とあわせてホームページ、情報誌レクルーにて周知した。

また、準上級と中級に向けたテキスト、冊子を作成し、昇級を促進した。

② 中級レクリエーション・インストラクターの審査認定

2019 年度に準中級に昇級した者、2021 年度更新時までには 4 年から 7 年間レクリエーション・コーディネーターまたは福祉レクリエーション・ワーカーとして活動した者を対象に審査を行い、557 名を中級レクリエーション・インストラクターに認定した。

③ 準上級レクリエーション・インストラクターの特別認定

2021 年度更新時までには 8 年間以上レクリエーション・コーディネーターまたは福祉レクリエーション・ワーカーとして活動する者 1,288 名を、準上級レクリエーション・インストラクターに特別認定した。

④ 上級レクリエーション・インストラクターの特別認定について

旧公認指導者制度において上級及び 1 級指導者に認定された経歴を持つ者、1996 年 4 月 1 日以前からレクリエーション・コーディネーターとして活動する者 400 名を、上級レクリエーション・インストラクターに特別認定した。

⑤ 公認指導者資格の更新（2022 年 3 月 31 日現在）

資格名	更新対象者数	更新者数	更新率
余暇開発士	251 名	225 名	89.64%
スポーツ・レクリエーション指導者	740 名	697 名	94.19%
レクリエーション・インストラクター	18,734 名	-	73.01%
準中級レクリエーション・インストラクター		11,432 名	
中級レクリエーション・インストラクター		557 名	
準上級レクリエーション・インストラクター		1,288 名	
上級レクリエーション・インストラクター		400 名	
レクリエーション・コーディネーター	1,063 名	970 名	91.25%
福祉レクリエーション・ワーカー	1,633 名	1,387 名	84.94%
のべ人数	22,421 名	16,956 名	75.63%

参考：公認指導者資格の更新（2021年3月31日現在）

資格名	更新対象者数	更新者数	更新率
余暇開発士	222名	187名	84.23%
レクリエーション・インストラクター	20,947名		70.97%
準中級レクリエーション・インストラクター		12,580名	
中級レクリエーション・インストラクター		483名	
準上級レクリエーション・インストラクター		1,389名	
上級レクリエーション・インストラクター		415名	
スポーツ・レクリエーション指導者	619名	589名	95.15%
レクリエーション・コーディネーター	1,144名	1,011名	88.37%
福祉レクリエーション・ワーカー	1,875名	1,572名	83.84%
のべ人数	24,807名	18,226名	73.47%

※2020-21年度より「レクリエーション・インストラクター資格特別認定制度」を適用。中級・準上級・上級の更新人数には更新対象者である特別認定者の数が含まれる。

⑥ 公認指導者数（2022年3月31日現在）

資格名	人数
スポーツ・レクリエーション指導者	1,970名
レクリエーション・インストラクター	9,784名
準中級レクリエーション・インストラクター	24,031名
中級レクリエーション・インストラクター	1,037名
準上級レクリエーション・インストラクター	2,659名
上級レクリエーション・インストラクター	828名
余暇開発士	414名
レクリエーション・コーディネーター	2,094名
福祉レクリエーション・ワーカー	3,135名
のべ人数	45,952名

参考：公認指導者数（2020年3月31日現在）

資格名	人数
スポーツ・レクリエーション指導者	1,694名
レクリエーション・インストラクター	12,289名
準中級レクリエーション・インストラクター	25,676名
中級レクリエーション・インストラクター	483名
準上級レクリエーション・インストラクター	1,389名
上級レクリエーション・インストラクター	415名
余暇開発士	438名
レクリエーション・コーディネーター	2,149名
福祉レクリエーション・ワーカー	3,345名
のべ人数	47,878名

3. レクリエーションの普及・啓発

(1) 全国イベント・啓発

① 第75回全国レクリエーション大会 2021 福島

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、2021年度の開催を中止した。

② 全国一斉「あそびの日」キャンペーン 2021

スポーツ庁の共催のもと、「あそび」を通して子どもたちを育み、家族のふれあい、地域の交流等を全国各地で促進するために、全国一斉「あそびの日」キャンペーン 2021（18回目）を開催。2021年度も実施期間を秋とした。

「すべてはみんなの笑顔のために 2021」をサブタイトルとし、全国 3,740 のプログラムに合計 171,566 名が参加した。また、コロナ禍でも自宅などから参加できる「おうちで 60 秒チャレンジ」をオンライン企画として実施し、120 件の参加があった。

○サブタイトル すべてはみんなの笑顔のために 2021

○開催期間 令和3年9月17日（金）～11月14日（日）

○主催 公益財団法人日本レクリエーション協会

○共催 スポーツ庁、都道府県レクリエーション協会、一般財団法人日本ユースホステル協会、一般財団法人休暇村協会、一般財団法人公園財団、独立行政法人国立青少年教育振興機構

○全国後援 厚生労働省、総務省、全国市長会、全国町村会、社会福祉法人全国社会福祉協議会、公益財団法人日本パラスポーツ協会

③ Web サイト等を活用した情報配信

2021年度は、従来のwebサイト構成を全面的に見直し（統廃合）し、全サイトのリニューアルを実施した。

また、メールでの情報配信サービスを対象別に配信することや、SNS（フェイスブック、ツイッター）を活用し、日々の情報配信等も実施した。

○WEB サイト

・協会サイト recreation.or.jp 閲覧数：754,933PV 訪問者数：229,074人

・レクリエーション情報サイト“レクぼ” recreation.jp 閲覧数：4,637,899PV

訪問者数：649,080人

・健康スポーツ促進サイト“ケンスポコム” kenko.sportscom.jp

・レクリエーション・カタログ shop.recreation.jp

・レクリエーション資格紹介サイト shikaku.recreation.jp

・公認指導者サイト mem.recreation.or.jp

・講師派遣サイト kensyu.recreation.or.jp

・あそびの日サイト asobi.recreation.jp

・子供の体力向上ホームページ kodomo.recreation.or.jp

・課程認定校サイト recschoolstart.recreation.or.jp

・健康スポレクひろばサイト newelder.recreation.or.jp

・スポーツテンカサイト sportstenka.com

○メールマガジン

- ・公認指導者向け レクマガ (月2回配信)
- ・レクリエーション・サポーター向け ピアサポ (つき2回配信)
- ・用具・書籍購入者向け レクリエーション・カタログメルマガ (月1~2回配信)

(2) 生涯スポーツ推進及びその他レク普及

① 「健康スポレクひろば」普及推進事業

普段運動をしていない高齢者(スポーツ未実施者)に参加を促し、スポーツ・レクリエーション活動を通じた健康づくりを行う「健康スポレクひろば」普及推進事業を実施した。2021年度は、新型コロナウイルスの影響により実施地区数が減少したが、閉じこもりがちな高齢者が安心して参加できる「健康あおぞら教室」と題したプログラムも開催した。

なお、この「健康あおぞら教室」では一般社団法人日本ウオーキング協会と27地区で連携した。

・新規地区(19地区)

栃木県宇都宮市、富山県富山市、福井県越前市、兵庫県明石市・加古川市・播磨市・西宮市、山口県宇部市(2地区)・光市・岩国市・下松市・山陽小野田市・下関市・周南市・長門市・山口市(2地区)、熊本県熊本市

・継続地区(17地区)

千葉県野田市、東京都多摩市・中央区、新潟県新潟市(6地区)・燕市・阿賀野市・村上市・上越市・佐渡市、兵庫県淡路市、香川県丸亀市

・自走地区(14地区)

北海道北見市、福島県福島市(2地区)・二本松市、千葉県茂原市、山梨県南アルプス市、長野県松本市、大阪府大阪市、島根県出雲市、愛媛県松山市(2地区)、福岡県筑紫野市(2地区)・大木町

・健康あおぞら教室(41地区)

茨城県茨城町、新潟県燕市、京都府亀岡市、兵庫県神戸市、佐賀県佐賀市・鹿島市・武雄市、熊本県八代市・燕沢おたっしゅくらぶ、仙台白百合女子大学、上尾市スポーツ推進委員連絡協議会、東大和市介護予防リーダー会、健康デザイン研究所、CROSS SPORTS 高知、日本ウオーキング協会(27地区)

② 健康スポーツ活動応援サイト「ケンスポコム」の運用

スポーツ・レクリエーション団体の個人情報管理および教室やイベント等の集客活動等の支援を行う情報サービスとして開発した「ケンスポコム」を運用した。

また、スポーツ庁「こコスポ」サイトとのデータ連携を実装し、「ケンスポコム」に登録したイベント情報が自動的に「こコスポ」サイトに掲載される機能を実装した。

<2021年度に参加登録した団体>

日本キンボールスポーツ連盟、日本フリーテニス連盟、日本キャンプ協会、福島市レクリエーション協会、福岡市レクリエーション協会

③ ニュースポーツ・セミナー

健康スポーツ普及のため、加盟種目団体と連携して、ニュースポーツ・セミナーを計画したが、新型コロナウイルスの影響を受け、3種目(インディアカ、スポーツウエルネス

吹矢、ユニカール) に絞り 4 会場で開催し、104 名が参加した。

- ・長崎県会場 2021 年 11 月 3 日：インディアカ 23 名
- ・埼玉県会場 2021 年 11 月 23 日：スポーツウエルネス吹矢 9 名
- ・大阪府会場 2021 年 12 月 5 日：スポーツウエルネス吹矢 20 名
- ・兵庫県会場 2022 年 1 月 27 日：ユニカール 52 名

④ 元気アップ大会の開催

元気アップ・プログラムの普及と元気アップ・リーダーの活動の場として、6 県（福島県、富山県、兵庫県、愛知県、山口県、徳島県）にて 10 大会を開催し 211 名が参加した。

- ・2021 年 5 月 3 日福島県・ラグゲッター 14 名／6 月 26 日山口県・チャレンジ・ザ・ゲーム 17 名
8 月 3 日富山県・ラグゲッター 22 名／11 月 6 日兵庫県・ラグゲッター 14 名
11 月 7 日兵庫県・スポーツテカ 16 名／11 月 23 日山口県・スポーツテカ 21 名
12 月 12 日愛知県・ラグゲッター 60 名／12 月 18 日山口県・ラグゲッター 26 名
- ・2022 年 1 月 22 日徳島県・スポーツテカ 1 名／1 月 23 日徳島県・ラグゲッター 20 名

⑤ 全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム大会

年間を通して、いつでも、どこでも、誰でも参加することができる「全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム大会」を開催し、合計で 445 件の記録が認定された。

なお、予定していた「チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員代表者会議 2021」は中止した。

⑥ 受託研修、講師派遣等によるレクリエーションの普及

○心の元気づくり 365 プロジェクト

レクリエーションを広く普及するために無償で講師を派遣し、様々な活動や研修プログラムを提供した。2021 年度は東京都、愛知県、兵庫県、佐賀県にて講師を派遣。

中学校 1 件、高校 1 件、障がい者福祉センター 1 件にてレクリエーション体験教室、幼稚園 1 件にてレクリエーション研修を実施した。

○研修会等への講師派遣

首都圏をはじめ愛知県、長野県等の行政機関、高齢者施設等からのレクリエーション研修の依頼に対し、講師を派遣した。

大学からの依頼を受け、レクリエーション・サポーター研修を受託（講師派遣）したほか、オンラインによる研修も 2 件実施した。

領域	概要	件数
スポーツ・レクリエーション	スポーツ推進委員、スポーツリーダー研修等	5
レクリエーション支援	地域協会等のレクリエーション支援研修	4
福祉・介護	認知症予防・介護レクリエーション研修会等	3
青少年指導員	児童館職員、青少年指導員向けレク研修	3
大学	生涯学習講座（リカレント教育）	3
幼児教育	幼児教育活動（教諭対象）	1
	合計	19

⑦ おうちで60秒チャレンジ

コロナ禍において、自宅でできる運動あそびとして開発した「おうちで60秒チャレンジ」を継続展開し215件の記録申請があった。

また、「子ども霞が関見学デー」ではスポーツ庁ブースで実施し、スポーツ中央記念行事「お家でスポーツ2022～オンラインでつなげるスポーツの輪～」ではアスリートが挑戦するなどの普及活動の展開が図られた。

⑧ 第76回全国レクリエーション大会（2022年）プレ事業

2022年度に開催を予定している第76回全国レクリエーション大会の機運を高めるため、兵庫県姫路市にてプレ事業を実施した。

開催種目は7種目、合計1,419名の参加を得て開催し、2022年度開催のシミュレーションを行うとともに、姫路市における広報活動を行うことができた。

⑨ 令和3年度「体育の日」中央記念行事

スポーツ庁やスポーツ関連団体と共に例年開催している「体育の日」中央記念行事は、「令和3年度スポーツ中央記念行事 お家でスポーツ2022～オンラインでつなげるスポーツの輪と」というタイトル・形式の開催となった。WEBサイトにて映像コンテンツを公開したほか、Youtubeにてトークショーをライブ配信した。

- ・主催：スポーツ庁、独立行政法人日本スポーツ振興センター、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本レクリエーション協会、公益財団法人日本パラスポーツ協会、読売新聞社
- ・WEBサイト公開期間：令和4年1月10日（月）～2月13日（日）※トークショーは1月16日（日）
- ・WEBサイト合計閲覧数：52,118回

⑩ 生涯スポーツ・体力づくり全国会議2022

スポーツ庁、関連団体と共に「生涯スポーツ・体力づくり全国会議2022 - 人・スポーツ・未来 -」を実施。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、当初予定の対面開催を中止し、オンデマンド配信となった。

全体テーマ『「スポーツが変える。未来を創る。Enjoy Sports, Enjoy Life」から新たなスポーツ基本計画に向けて』のもと、全体会と4つの分科会を実施。この中で、公益財団法人日本スポーツ協会と連携して第2分科会「ICTを活用した情報提供と指導者養成・支援の在り方を考える～with コロナ、after コロナを見据えて」の企画・運営を行った。また、協賛団体の運営総括を担当した。

- ・主催：スポーツ庁、生涯スポーツ・体力づくり全国会議実行委員会（公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本レクリエーション協会、公益財団法人日本体育施設協会、公益財団法人スポーツ安全協会、公益社団法人全国スポーツ推進委員連合、公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、公益財団法人健康・体力づくり事業財団）
- ・期 日：2022年2月14日（月）～2月28日（月）
- ・開催方法：オンデマンド配信
- ・参加者：692名

4. スポーツ・レクリエーション用具・書籍の開発・普及

① レクリエーション・カタログ 2022 の作成

スポーツ・レクリエーション活動を効果的に実施するための用具・書籍を紹介するレクリエーション・カタログ 2022 を作成した。約 2 万部を発行し、全国の福祉施設、関連機関・団体へ配布した。

② ウェブサイト：レクリエーション・カタログの運用

新型コロナウイルスの影響で ICT 活用が進み、用具・書籍の購入についてもウェブの利用率が上がった。このため引き続き、サイトの運営・充実を行った。

○アクセス評価：閲覧数：271,056PV 訪問者数：34,491 人

5. その他 法人事務

① 生涯スポーツ功労者表彰（文部科学大臣表彰）

地域におけるスポーツ・レクリエーションの健全な普及及び発展に貢献し、功績顕著なレクリエーション指導者を日本レクリエーション協会が推薦し、下記の方々が生涯スポーツ功労者として認められ、文部科学大臣より表彰された。なお、新型コロナウイルスの影響により、表彰式は中止された。

- ・山内 直子 氏 特定非営利活動法人宮城県レクリエーション協会理事
- ・新谷 崇一 氏 特定非営利活動法人福島県レクリエーション協会会長
- ・小松 範子 氏 栃木県レクリエーション協会理事
- ・佐々木 恵子 氏 公益社団法人日本 3B 体操公認指導士
- ・玉置 巖 氏 公益社団法人日本フォークダンス連盟参与
- ・青野 宏子 氏 ミニトランポウオーク公認指導者
- ・瀬戸 章嘉 氏 一般社団法人日本インディアカ協会副会長
- ・筒井 由希子 氏 特定非営利活動法人兵庫県レクリエーション協会常任理事
- ・橋本 勲 氏 一般社団法人山口県レクリエーション協会専務理事
- ・今村 和巳 氏 鹿児島県レクリエーション協会副会長

② 内閣府エイジレス・ライフ実践事例「エイジレス章」

内閣府が、65 歳以上で自由にいきいきとした生活を送ること（「エイジレスライフ」）を積極的に行っている高齢者や団体などを広く紹介する「エイジレス章」に、宇山 とく子さん（特定非営利活動法人福島県レクリエーション協会）が選考された。

③ レクリエーション運動普及振興功労者表彰（理事長表彰）

レクリエーション運動の普及・発展に多大なる功績をあげた者を、加盟団体より推薦を受け、80 名、7 団体を表彰した。なお、新型コロナウイルスの影響により、表彰式は中止した。

○受賞者	都道府県レクリエーション協会推薦	74名
	種目・協力加盟団体推薦による推薦	6名
	市町村レクリエーション協会	7団体

④ 理事会

- 第1回 2021（令和3）年5月26日（水）14：00～15：40
 公益財団法人 日本レクリエーション協会 会議室
 ※インターネット会議で実施
- ・2020（令和2）年度事業報告(案)について
 - ・2020（令和2）年度収支決算(案)について
 - ・定款の改定について
 - ・2021（令和3）年度定時評議員会の招集について
- 第2回 2021（令和3）年6月16日（水）15：30～15：55
 ※インターネット会議で実施
- ・理事長の選任について
 - ・専務理事・常務理事の選任について
 - ・常務理事の報酬について
- 第3回 2022（令和4）年3月16日（水）13：30～15：20
 ※インターネット会議で実施
- ・2022（令和4）年度事業計画（案）について
 - ・2022（令和4）年度収支予算（案）について
 - ・2022（令和4）年度借入金限度額について

⑤ 評議員会

- 定時評議員会 2021（令和3）年6月17日（水）14：00～15：00
 ※インターネット会議で実施
- ・2020年度収支決算報告（案）について
 - ・理事及び監事の選任について
 - ・定款の改定について

⑥ 一般社団法人日本インディアカ協会事務局運営支援

新型コロナウイルスにより大きな影響を受けた一般社団法人日本インディアカ協会の事務局運営を支援した。

- ・管理費削減に向けたOA機器等リース契約の見直し
- ・ホームページ等の管理・運用
- ・事務局移転（日本レクリエーション協会内に令和3年2月移転）、等

[都道府県別公認指導者一覧] (令和4年3月31日現在)

所属協会	人数	インストラクター	準中級	中級	準上級	上級	スポレク指導者	余暇開発士	レコーデイナー	福祉レクワーカー	延べ数	
1	北海道	1,693	535	991	54	63	36	182	5	86	41	1,993
2	青森県	634	141	428	13	35	8	20	0	13	45	703
3	岩手県	697	101	508	12	54	16	11	3	30	55	790
4	宮城県	1,138	269	713	35	54	24	53	4	80	121	1,353
5	秋田県	378	61	261	12	15	17	19	2	22	25	434
6	山形県	311	26	190	5	16	8	0	1	17	82	345
7	福島県	951	171	662	28	45	17	39	3	40	75	1,080
8	茨城県	803	192	472	16	60	19	16	7	29	109	920
9	栃木県	1,030	445	460	21	75	16	23	5	30	105	1,180
10	群馬県	998	430	482	14	53	4	17	6	16	59	1,081
11	埼玉県	1,060	166	734	45	74	18	43	17	52	65	1,214
12	千葉県	1,162	270	726	38	81	18	53	26	69	58	1,339
13	神奈川県	1,128	169	795	34	66	30	39	32	71	54	1,290
14	東京都	2,326	545	1,286	93	162	80	175	53	138	166	2,698
15	新潟県	1,509	427	733	19	182	31	57	42	146	236	1,873
16	富山県	501	139	312	5	23	14	24	5	25	27	574
17	石川県	245	22	174	9	31	4	27	2	22	26	317
18	福井県	534	183	260	5	57	16	21	2	36	129	709
19	山梨県	267	106	139	8	11	1	16	0	5	9	295
20	長野県	664	53	523	23	45	7	47	3	46	41	788
21	岐阜県	883	171	600	26	57	19	65	5	49	49	1,041
22	静岡県	1,125	220	698	28	110	20	39	11	56	160	1,342
23	愛知県	1,957	690	1,006	54	111	50	103	7	114	108	2,243
24	三重県	769	161	496	18	53	23	5	4	51	67	878
25	滋賀県	268	15	203	6	22	14	5	4	28	22	319
26	京都府	538	89	349	22	46	19	15	2	60	40	642
27	大阪府	1,806	517	1,050	53	111	29	62	18	128	103	2,071
28	兵庫県	1,729	510	1,008	45	95	23	93	38	61	122	1,995
29	奈良県	220	98	98	7	9	2	47	7	11	8	287
30	和歌山県	225	1	188	6	13	13	3	1	15	15	255
31	鳥取県	272	45	180	7	29	5	19	3	11	32	331
32	島根県	487	93	336	11	34	6	9	3	22	25	539
33	岡山県	826	178	482	15	116	19	7	8	50	116	991
34	広島県	1,240	212	779	42	94	32	29	19	71	161	1,439
35	山口県	775	200	475	15	67	10	47	6	34	62	916
36	徳島県	601	200	335	17	20	7	150	3	9	40	781
37	香川県	608	157	417	10	18	1	16	4	8	19	650
38	愛媛県	692	160	465	17	37	3	28	4	14	44	772
39	高知県	500	164	312	5	11	5	16	0	11	12	536
40	福岡県	1,815	596	1,034	37	87	34	28	23	92	69	2,000
41	佐賀県	356	73	224	5	47	6	29	4	7	56	451
42	長崎県	597	77	456	21	25	16	24	1	23	26	669
43	熊本県	473	75	348	12	29	7	47	2	17	28	565
44	大分県	601	159	361	17	40	13	31	4	30	53	708
45	宮崎県	454	64	327	15	26	20	51	4	28	24	559
46	鹿児島県	838	150	536	15	99	22	43	9	64	110	1,048
47	沖縄県	638	240	323	10	38	15	70	2	37	29	764
48	北九州市	150	18	96	12	13	11	7	0	20	7	184
合計		39,472	9,784	24,031	1,037	2,659	828	1,970	414	2,094	3,135	45,952